

取組事例発表

第14回メタン発酵技術アドバイザー養成研修にて講演

～メタン発酵技術で地域に貢献するために～

株式会社富士クリーン(所在地：香川県綾川町、代表取締役社長：馬場 太一郎)は、一般社団法人日本有機資源協会様からご依頼をいただき、2024年8月6日・7日開催の第14回メタン発酵技術アドバイザー養成研修にてオンラインでの講演を実施いたしました。

■ メタン発酵技術アドバイザー養成研修

メタン発酵技術は地域循環共生圏や脱炭素先行地域の形成に寄与するもので、政府関係7府省が共同で選定し公表されているバイオマス産業都市構想においても半数以上が取り入れられています。一般社団法人日本有機資源協会では、2011年度よりバイオガス事業を推進するための人材育成を目的として「メタン発酵技術アドバイザー養成研修」を行っています。この研修修了者は必要な知識を習得したものとして「メタン発酵技術アドバイザー」に認定され修了書が発行されます。また修了後でもフォローアップ研修を実施し、最新情報の取得や資質の向上を図っています。今年度で第14回になる研修ですが、第12回から講演を行った当社の再生エネルギー部部長の金城が乾式メタン発酵施設でのバイオガス発電事例について講師を務めさせていただきました。



再生エネルギー部 部長 金城 寿人

■ 当社講演「メタン発酵バイオガス発電の事例（乾式メタン発酵）」



乾式メタン発酵施設

今回の当社の講演では、乾式メタン発酵施設における発電技術の基本的な内容の紹介から現状の稼働実績やエネルギー収支の概要について説明を実施しました。これまでの講演内容を踏まえ、新たな発見やトラブル事例、定期メンテナンスの重要性や今後の取組みについても紹介させていただきました。数少ない乾式メタン発酵施設での当社の経験が役に立てば幸いです。これから先もメタン発酵技術は新たな技術開発が進んで行き、更に携わる人材を確保し継続して技術向上を図っていく必要があります。当社はこれからも積極的に資源の有効利用技術の人材育成に社外社内問わず参加し取り組んでまいります。

本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com